

日本音楽知覚認知学会 平成 28 年（2016 年）第 1 回理事会 議事録

日時：平成 28 年（2016 年）5 月 14 日（土曜）午前 10 時～12 時 45 分

場所：九州大学大橋キャンパス 3 号館 601 号室

出席者（敬称略・順不同）：中島祥好、山崎晃男、菅千索、星野悦子、荒川恵子、小川容子、森下修次、高橋範行、三雲真理子、川上央、亀川徹、谷口高士、上田和夫、吉野巖、安井希子、松本じゅん子、三浦雅展

オブザーバー：岩宮眞一郎、生駒忍、小幡哲史

議題

1. 会則の改訂について：小川容子常任理事（会則担当）  
会則の改定案が提案され、監事の選出方法を「会長、副会長、常任理事いずれかの経験者の中から」選出するという修正、および事務局の住所を記載するという提案がなされ、どちらも承認された。
2. 震災への対応について：谷口高士常任理事（研究発表会担当）  
熊本で発生した震災に対する対応として、会員の自己申告に基づいて、当該地震の被災者については 2 年間発表会への参加費および年会費を免除することが承認された。
3. 国際活動支援基金の現状および有効活用について：吉野巖常任理事（総務担当）  
当該基金の活用案が複数提案された。海外活動、会員還元、会勢拡大などが議論された。今後の意見集約については、山崎晃男副会長、吉野巖常任理事によるワーキングの設置が承認された。また、当該基金だけの議論ではなく、本会予算の残金と併せて議論することが必要であるという認識を共有した。
4. 音楽知覚認知学会 30 周年記念出版について：星野悦子常任理事  
当該出版「音楽知覚認知ハンドブック」について進捗状況、特に章節構成が報告され、承認された。また、会員への無料配布についての提案がなされたが、3 の議論より継続審議となった。
5. 学会誌論文のデジタル化について：星野悦子常任理事（学会誌編集委員長）  
原著論文の無料公開について議論した結果、7～16 巻の電子化の費用について約 10 万円程度必要であり、支出可とすることが承認された。また、原著論文の最新版の公開については、冊子体よりも 1 年遅らせて公開することが承認された。
6. 平成 28 年度予算案について：川上央常任理事（事務局長）  
本年度平成 28 年度の予算案が提案され、了承された。
7. 会費未納者の扱いについて：川上央常任理事（事務局長）  
平成 26 年度第 1 回理事会で会費未納 4 年以上の報告された会員のうち、再請求後の納付がなかった 11 名（正会員 5 名、学生会員 6 名）を、平成 28 年 3 月末日で除名とした旨、報告された。現時点で会費未納が 3 年以上の会員が 16 名おり、このままでは平成 29 年 3 月末日で除名となるので、知り合いが含まれていれば周知させることを申し合わせた。
8. 会員の動向について：川上央常任理事（事務局長）

年度の会員の総数は277名で、内訳は名誉会員3名、正会員246名、学生会員28名であることが報告された。

9. 次回秋季研究発表会について：谷口高士常任理事（研究発表会担当）

10月29—30日 筑波大学にて日本音響学会音楽音響研究会との共催で実施されることが承認された。またポスターセッションの原稿は音楽音響研究会のフォーマットに合わせる事が承認された。

10. ポスターセッションについて：三浦雅展副会長（若手活動振興担当）

秋の共催では、亀川徹理事・荒川恵子常任理事・三雲真理子理事・三浦雅展副会長が窓口になって先方と打ち合わせをすることを承認した。今回のポスター発表会については、年齢制限を設けず、研究の将来性が見込めるものや好印象のものを理事会メンバー投票し、選奨担当委員（荒川恵子常任理事、三雲真理子理事）に提出し、その後、選奨委員によって選定し、2日目の最後に発表をすることが承認された。授賞する賞の名称は「日本音楽知覚認知学会平成28年度春季研究発表会ポスター発表選奨」とすることが承認された。また受賞者に対して、研究選奨とはフォーマットの異なる賞状を授与することが承認された。

11. その他

11.1 学会ホームページ上の表記について：吉野巖常任理事（総務担当）

現在、事務局にセールスが多数寄せられている状況を鑑み、ホームページ上に「セールスお断り」の意を表示することが承認された。

11.2 APSCOMを鑑みた本会発表会について：中島祥好（会長）

2017年度秋季発表会については、APSCOMとは別の時期に開催するように努力するが、負担を考慮し、開催をしない可能性も視野に入れることが承認された。なお、同春季研究発表会については通常通り開催することが承認された。

## 報告

1. 新監事の就任について：中島祥好会長

仁平元会長が担当することが報告された。

2. 平成27年度事業報告：中島祥好会長

研究発表会開催について、昨年春季研究発表会は、6月6日、7日に北海道教育大学札幌駅前サテライト（世話役：吉野巖先生）にて、また秋季研究発表12月5日、6日にヤマハ音楽振興会本部（世話役：小川純一先生）にて開催されたことが、報告された。

3. APSCOM6の準備について：荒川恵子常任理事（APSCOM6組織委員長）

開催日程が2017/8/25-27に変更となることが報告された。

4. 平成27年度決算報告：川上央常任理事（事務局担当）

原案通り報告された。なお、次年度以降、学会誌刊行費が予算超過した場合は学会誌出版積立金から補てんしてはどうかとの指摘がなされた。

5. 平成27年度監査結果：岩宮眞一郎監事

岩宮眞一郎監事より、すべての書類を確認し、適正な会計がなされていたことが報告された。

6. 平成 27 年度秋季研究発表会 研究選奨受賞者について：荒川恵子常任理事（学会賞担当）  
当該発表会の受賞者は 1 名で、飯田州人氏（九州大学。題目：空隙の長さと頻度とが音楽信号に与える違和感についての精神物理学的研究）であることが報告された。
7. 「音楽知覚認知研究」の発刊と今後の予定について：星野悦子常任理事（学会誌編集委員長）  
学会誌の刊行は 2015 年度上半期の第 21 巻 1 号と下半期の 2 号が刊行され、現在は 2016 年度上半期号の第 22 巻 1 号の最終原稿が入稿直前であることが報告された。
8. *Musicae Scientiae* アブストラクト翻訳について：高橋範行理事  
原案通り終了することが報告された。これまでの努力に対して謝意が表せられた。

—以上—